



2019年11月12日

各位

会社名 株式会社 クラレ
代表者名 取締役社長 伊藤 正明
コード番号 3405
上場取引所 東証第一部
問合せ先 経営企画室
IR・広報部長 植垣 文雄
TEL(03) 6701-1070

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年8月8日に公表しました2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の通期業績予想を修正しましたのでお知らせします。

1. 2019年12月期通期連結業績予想の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2019年8月8日発表）	百万円 600,000	百万円 67,000	百万円 62,500	百万円 38,000	円 銭 109.76
今回修正予想（B）	578,000	57,000	52,000	28,500	82.92
増減額（B－A）	△22,000	△10,000	△10,500	△9,500	
増減率（%）	△3.7	△14.9	△16.8	△25.0	

下期の平均為替は米ドル110円、ユーロ120円、国産ナフサ価格41千円/KLを前提としています。

2. 修正の理由

世界景気の減速により、当社主力事業であるビニルアセテート、イソプレンにおいて、自動車用途、ディスプレイ用途、電子・電気デバイス用途を中心に需要が低迷しており、第4四半期連結会計期間においても足もとの需要状況に大きな変化が見込めないため、売上高、各利益項目ともに前回発表予想を下回る見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の影響に加え、当第3四半期連結会計期間において、2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関する和解費用を含む損害賠償として約140億円を特別損失に、当件に関する受取保険金として約100億円を特別利益にそれぞれ計上しました。

3. 今後の見通し

当該火災事故に関する民事訴訟において、今後新たに発生する可能性のある損失については、現時点で合理的に見積もることが困難であるため、今回修正予想に含んでいません。損失に伴う業績予想の修正が必要となる場合は、速やかにお知らせいたします。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上